

## クビアカツヤカミキリの防除ポイント（もも・すもも・うめ）

## ○被害地域が拡大傾向にあるので、これまで発生がなかった地域においても注意が必要です！

特定外来生物クビアカツヤカミキリは、平成28（2016）年に栃木県内で成虫が初めて確認され、現在は足利市、佐野市、栃木市、小山市に分布を拡大しています。

本害虫は、幼虫がもも、すもも及びうめ等の幹内部を食害することで、樹木が衰弱・枯死する被害を生じます。幼虫による被害を受けた樹木の株元には、5月頃からフラス（フンと木くずの混ざった物：写真1）が多く見られるようになります。

6月から8月にかけて成虫（写真2）の発生時期となるため、もも・すもも・うめの園地では、園内を見回りをを行い、早期発見と早期防除に努め、被害の拡大を防ぎましょう！

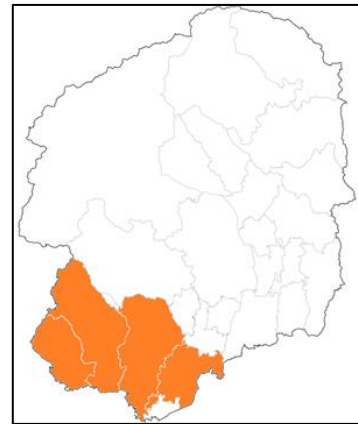


図1 県内のクビアカツヤカミキリ分布図  
（発生地域をオレンジ色で示した。）



写真1 もも被害樹株元のフラス

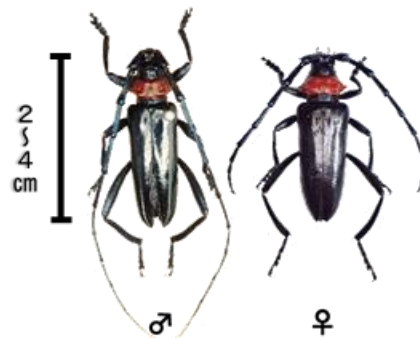


写真2 クビアカツヤカミキリ成虫

### 1 防除対策のポイント

#### (1) 幼虫の防除（4月下旬～10月）

フラスが排出される幼虫食入孔を見つけた場合には、針金や千枚通し等でフラスを掻き出し、針金で幼虫を刺殺するか、幼虫を防除対象とした薬剤を使用する（表1）。食入孔に薬剤を注入する際は、薬剤が食入孔から滴るまで十分量を注入する。

#### (2) 成虫の防除（6～8月）

もも・すもも等では成虫発生時期と収穫期が重なるため、農薬の収穫前日数や使用回数に注意する。収穫期間中は、収穫前日まで使用できる薬剤を定期的に散布し、収穫終了後は、収穫前日数の長い薬剤で防除する（表2）。併せて、園内を見回り、成虫を見つけたら捕殺する。

また、羽化した成虫の分散を防止するため、被害樹の樹幹部にネット巻きを行い、定期的にネット内の成虫を踏みつぶすなどして殺虫する。

#### (3) 被害木伐採後の処置について

伐採木の運搬や保管には、逸出防止措置が必要です。伐採木は原則9月～翌年の4月の期間中に処分してください。園地において、被害木を処分することになった場合は、農業振興事務所に御相談ください。

（注）本種は特定外来生物に指定されており、生きた虫の飼育、運搬、放虫等が法律で禁止されています。

## 2 クビアカツヤカミキリの防除薬剤（令和2(2020)年5月19日現在）

表1 幼虫の食入孔に使用する薬剤

作物名	農薬の名称	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	IRACコード
もも	ベニカカミキリムシエアゾール*	収穫前日まで	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	3(A)
	ロビンフッド*	収穫前日まで	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	3(A)
	バイオセーフ	幼虫発生期	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	-	-
すもも	ベニカカミキリムシエアゾール*	収穫前日まで	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	3(A)
	ロビンフッド*	収穫前日まで	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	3(A)
うめ	ベニカカミキリムシエアゾール*	収穫前日まで	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	3(A)
	ロビンフッド*	収穫前日まで	樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射	5回以内	3(A)
	バイオセーフ	幼虫発生期	木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入	-	-

\*カミキリムシ類に登録のある薬剤 - : 生物農薬のため、ないことを示す

表2 成虫発生時期に使用する薬剤（収穫前日数が前日の薬剤を色付けした。）

作物名	農薬の名称	使用時期	希釈倍数 使用量	使用方法	本剤の使用回数	IRACコード
もも	アクタラ顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	4A
	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	4A
	テッパン液剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内	28
	スプラサイド水和剤	収穫21日前まで	1500倍	散布	2回以内	1(B)
	スプラサイドM	収穫60日前まで	200倍	樹幹部及び主枝に散布	2回以内	1(B)
すもも	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	4A
	テッパン液剤	収穫前日まで	2000倍	散布	2回以内	28
	スプラサイド水和剤	収穫14日前まで	1500倍	散布	2回以内	1(B)
うめ	モスピラン顆粒水溶剤	収穫前日まで	2000倍	散布	3回以内	4A
	アクセルフロアブル	収穫前日まで	1000倍	散布	3回以内	22B
	アクタラ顆粒水溶剤	収穫7日前まで	2000倍	散布	2回以内	4A
	スプラサイド水和剤	収穫14日前まで	1500倍	散布	2回以内	1(B)
果樹類	バイオリサ・カミキリ*	成虫発生初期	1樹当たり1本	地際に近い主幹の分枝部分等に架ける	-	-

\*カミキリムシ類に登録のある薬剤 - : 生物農薬のため、ないことを示す

- [クビアカツヤカミキリ防除対策マニュアル](#)では、写真付きで防除方法を掲載しています。
- クビアカツヤカミキリを発見した場合は、農業環境指導センター（TEL：028-626-3086）まで御連絡ください。（[クビアカツヤカミキリ注意喚起チラシ](#)）

詳細は、農業環境指導センター（TEL 028-626-3086）までお問合せ下さい。  
 病害虫情報発表のお知らせは「農政部ツイッター(@tochigi\_nousei)」、農業環境指導センターホームページ (<http://www.jpnp.ne.jp/tochigi/index.html>) でもご覧になれます。